

News Letter

2015年
3月

中国四国農政局
松江地域センター

東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」による被災地支援活動～島根県社会福祉協議会～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された多くの方々には心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災発生後、たくさんの方々が被災地域の復興に向けさまざまな支援を継続しています。

今回は、東日本大震災発生以降、被災地域に東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」を派遣している“社会福祉法人 島根県社会福祉協議会”を紹介します。



漁網の引き出し作業(一般)

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会では、東日本大震災発生以降、県民の方から「被災された方の現地に赴き、被災地の支援をしたい。」という声が多く寄せられ、県民の方の思いと被災地からの支援要請をつなぐために、東日本大震災「島根県災害ボランティア隊」の参加者を募集・派遣し、継続的な被災地支援活動を行ってきました。

この支援活動は、平成23年5月9日から平成26年9月9日までの間、36回（1回当たり一週間程度）、延べ870名（性別では男性527名、女性343名。年代別では10代～20代：557名、30代～50代：236名、60代～：77名。高校生、大学生などの学生は、主に夏休み・冬休みを利用。）を宮城県（石巻市、南三

陸町など）、岩手県（陸前高田市、住田町など）、福島県（南相馬市）に派遣しました。

支援活動は、全壊した家屋の片付け、側溝などの泥出し、農地に散在している瓦礫の撤去、養殖いかだの重り作り、養殖わかめの選別作業、子どもの学習支援など、支援時期に応じた活動を行いました。



畑に埋まっている小さなガラスや瓦礫の撤去作業(高校生)

被災地域の方々からは、「来てくれるだけでうれしい。」「きれいにしてくれて、ありがとう。」などの声が支援活動に参加した方々に寄せられました。

支援活動に参加した方からは「東北のことを忘れない。小さいことを多くの方が継続していくことが復興への近道になる。」との感想がありました。

島根県社会福祉協議会 地域福祉部 ボランティア振興係 樋原係長は、「いつ・どこで局所的な災害が起こるか分からない。災害時には、被災地域の復旧や復興のため関係機関と連携しながら支援活動を行いたい。」と語っていました。



養殖わかめの選別作業(大学生)

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会 に関する問い合わせ先

TEL : 0852-32-5955 FAX: 0852-32-5982

http://www.fukushi-shimane.or.jp/



“平成26年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in ご縁の国しまね”を開催



市山環境保全会
事務局:牛尾 且宏 氏

平成27年2月5日(木)、島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)3階国際会議場において、「平成26年度多面的機能支払中国四国シンポジウムinご縁の国しまね」(主催:島根県、島根県農地・水・環境保全協議会、共催:中国四国農政局)が開催され、中国四国9県の活動組織及び各県担当者など518名が参加しました。

このシンポジウムは、農業・農村を有する多面的機能の維持・発揮のための地域共同活動への取り組み意識の高揚と活動の向上を目的として中国四国の各県持ち回りで開催され、今回で6回目となります。

シンポジウムでは、まず、島根県江津市の「市山環境保全会(26年度「いきものにぎわい企業活動コンテスト」農林水産大臣賞受賞)」牛尾 事務局から講演がありました。講演では、荒れていた小さな棚田を20数年ぶりに地域住民が復元したことから始まり、この棚田に古代米を植え子どもの農業体験の場として活用したことで小学生と高齢者とのつながりが深まったこと、生き物のためにビオトープを造成したことで環境に対する意識が向上されたことなどの紹介がありました。

次に、26年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰(多面的機能支払)最優秀賞を受賞した4つの活動組織から事例発表がありました。島根県からは、20の集落から構成される広域



邑南町口羽地区農地・水・環境保全管理協定
事務局会計:小田 博之氏

活動組織「邑南町口羽地区農地・水・環境保全管理協定」の小田事務局会計から、口羽地区では人材登録制による30名で構成される「口羽をてごおする会」が集落だけでは困難な草刈りや高齢者には面倒な多面的機能支払の事務作業を担っていること、遊休化した川角集落の棚田を整備して花桃の木を植栽し、24年度から「花桃まつり」を開催していることなどの紹介がありました。

最後に、全国土地改良事業団体連合会 鹿嶋 企画研究部長から、「27年度から本事業は法律に基づいた制度となるが、引き続き、持続可能な地域づくりへ貢献する保全管理活動が展開されるよう支援していきたい。」と情報提供し閉会しました。



全国土地改良事業団体連合会
企画研究部長:鹿嶋 弘律氏

※なお、①平成26年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長受賞組織、②中国四国農政局で開催した表彰式の様子については、下記の中国四国農政局ホームページをご覧ください。

- ① 受賞組織 → <http://www.maff.go.jp/chushi/press/nochi/150127.html>
- ② 表彰式の様子 → http://www.maff.go.jp/chushi/photo/photo_27sesaku.html#150129_3

農林業センサス 平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

○農山村地域調査(平成27年4~6月末)



円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL: <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>

編集:中国四国農政局 松江地域センター

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線536) FAX (0852)27-8858 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>

